

競 技 注 意 事 項

1. 規 則

競技は2022年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項、申し合わせ事項による。なお、2022年度日本陸上競技連盟競技規則第162条5の適用はしない。

2. 練 習

- (1) 競技場の開門時間は両日ともに8時とする。競技場練習開放時間は1日目8時～10時、2日目は8時～10時30分とする。
- (2) 競技開始後の練習は、競技場の指定された場所（競技場周辺コンクリート、競技場トラック内芝生、バックストレート付近）を選手のみが行うものとし、マーシャルの指示に従って安全面に十分注意して行うこと。
- (3) 会場への投擲物の持ち込みは禁止とし、練習は現地集合後に行うものとする。
- (4) フィールド競技の練習は、競技開始前に審判の指示により競技場内で行う。
- (5) 器具を使用後は、手洗いまたは指先消毒を行うこと。

3. 競技場とスパイクの使用

- (1) 競技場は全天候型である。
- (2) 使用できるスパイクのピンの長さは、走高跳12mm以下、その他は9mm以下とし、その数は11本以内とする。また、先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するものでなければならない。
- (3) ニードルピンの使用は不可。
- (4) シューズ（スパイク・ランニングシューズ含む）の靴底（ソール）全体の厚さは以下の通り。
走高跳 : 20mm以内（かかと含む）
走幅跳 : 20mm以内（ただし前部が踵部より厚くなってはならない）
砲丸投 : 20mm以内
トラック種目 : 800m未満の種目は20mm以内、800m以上の種目は25mm以内

4. 選手受付（招集方法について）

- (1) 競技者本人は招集時間内に招集所でアスリートビブスの確認を受け、荷物入れ用のビニール袋を受け取る。これを一次招集とする。
- (2) 一次招集所は、トラックゴール後方の芝生エリアに設置する。
- (3) 一次招集完了後、トラック競技はスタート地点、フィールド競技は競技場所に移動し、二次招集を受ける。
- (4) 招集に遅れたものは棄権とみなし出場を許さない。競技を棄権する選手は棄権届をTICで受け取り、必要事項を記入の上競技開始60分前までに招集所へ提出すること。
- (5) 招集開始及び完了時刻は下記の通りとし、競技者本人が行うこと。

種目	一次招集	二次招集
トラック競技	競技開始30分前～15分前完了	競技開始10分前集合完了
フィールド種目	競技開始60分前～45分前完了	競技開始30分前集合完了

- (6) トラック種目の競技者は、競技者係から腰ナンバーカード（レーンナンバーカード）を受け取り、右尻部につけること。（リレー競技は第4走者のみ）競技終了後、腰ナンバーカードを外し、ゴール付近のかごに入れること。

5. 入 退 場

- (1) 入場についてはマーシャルの指示・誘導に従う。
- (2) トラック競技は、レース終了後腰ナンバーカードを係に返却し、第1ゲート付近臨時手洗い場で手洗いをしてスタート付近に戻り、荷物を持って待機場所へ戻ること。
- (3) フィールド競技は、競技終了後に荷物を持って手洗い場で手洗いをしてベンチに戻ることに。

6. アスリートビブス

- (1) アスリートビブスは千葉県小中学校体育連盟陸上競技専門部指定（2022年度）のものを使用する。
- (2) アスリートビブスは胸（腹ではない）と背にしわにならないように四隅をしっかりとつけ、切ったり曲げたりしてはならない。但し、跳躍種目は1枚を胸または背のどちらかにつけるだけでよい。

7. 走 路 順

トラック競技の組、走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに数字で示すものとする。

8. 棒高跳支柱移動申告について

各競技者は、競技開始15分前までに当該審判に自分の希望する支柱の位置を申告すること。もしも競技者がその位置を変更したいときは直ちに当該審判員に申告すること。

9. リレー競技について（リレーオーダー用紙はT I Cに準備）

- (1) リレー競技に出場するチームはリレーオーダー用紙に必要事項を記入し、招集完了時刻の60分前までにT I Cに提出のこと。
- (2) リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用することが望ましい。
- (3) リレーのマーカの使用は1カ所とする。〔第170条⑩を適用〕

10. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男子走高跳	1m15 1m40	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	以降5cmずつ
女子走高跳	1m05 1m25	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	以降5cmずつ
男女棒高跳	1m80 2m50 3m00 3m80	1m80	2m00	2m10	2m20	2m30	2m40	2m50	以降10cmずつ

11. 計時について

競走競技はすべてのトラック種目のレースにおいて写真判定を採用する。

12. 不正スタートについて

不正スタートした競技者はすべて失格とする。2022年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則第162条5の適用はしない。

13. フィールド競技について

- (1) 走幅跳、砲丸投は3回の試技とする。記録上位8名はトップ8に進出し、さらに3回の試技を認める。
- (2) 棒高跳、砲丸投について、棒高跳、砲丸投で使用する滑り止めは各自で準備をし、滑り止めを他人と共有はしない。

14. 用 器 具

- (1) 棒高跳のポール以外は競技場備え付けのものを使用する。
- (2) 棒高跳のポールは本部の公式計測員（技術総務）または、跳躍審判員の検査を受けてから使用する。

15. 抗 議

発表された結果に対する抗議は、正式発表後（15分以内）に各顧問がT I Cを通じて審判長に対して口頭で行い、控室で待機する。さらに、この裁定に不満の場合は預託金10,000円を添えて、担当総務員（ジュリー）に文書で申し出る。

16. 表 彰

各競技終了後の表彰は行わない。

17. そ の 他

- (1) 記録の発表は、アナウンスのみで行うものとする。記録の掲示はしない。
- (2) 各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難に注意する。
- (3) ゴミについては必ず持ち帰ること。競技場、駅、バス停などに絶対に捨てないこと。
- (4) 選手控え場所については競技場内トラック外側の芝生のみとする（トラックに近くならないように注意すること）。競技場外のコンクリートはウォーミングアップで使用するため、場所取りはしない。また、スタンドでの場所取りはしない。
- (5) プログラムの記載事項の訂正については、競技開始1時間前までに、本人と引率者がT I Cへ届け出ること。
- (6) 競技中に発生した事故などについては応急処置を主催者で行うが、以降の責任は負わない。また、体調が悪くなった選手は医務員の指示に従うこと。
- (7) 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う注意事項
 - ・ 競技者は、自分の競技のある日に、競技のウォーミングアップに合わせて来場し、競技終了後速やかに帰宅すること。
 - ・ 競技者は、指定された場所で待機する。その際、競技者同士のソーシャルディスタンスを考慮して設置すること。
 - ・ 招集においては密になりやすいため、マスクを着用し、競技者同士のソーシャルディスタンスを考慮して集合すること。
 - ・ 競技終了後は手洗いまたは指先消毒を行う。
- (8) 雨天時に備えて各自で雨具の準備をしておくこと。
- (9) 駐車場について
 - ・ 引率顧問と保護者の駐車場には限りがあるため、できる限り公共交通機関を利用するか、学校ごとにバスで来場する。
 - ・ 駐車場は駐車証のあるものから優先的に使用する。
 - ・ バスで来場する場合は、競技場東側駐車場で乗降し、木更津警察署横の大駐車場（旧木更津市役所）に移動する。乗降については各校で安全確保を確実にを行う。
 - ・ 路上への駐車や停車は行わないこと。